

一般会務報告

平成23年度 第4回役員会 議事録

日時：平成23年9月17日(土) 12時00～

場所：大阪工業大学 1号館4階

大学院講義室2

出席者：伊集院敬行、今井美樹、佐藤敬二、佐藤博一、島先京一、関哲洋、多田羅景太、谷本尚子、永井隆則、並木誠士、藤田治彦、三木順子、藪亨、山口良臣、渡邊眞 (50音順、敬称略、以下同様)

[審議事項]

議題 1. 前回議事録の承認
一部修正の上承認された。

議題 2. 総会議事録の承認
承認された。議事録に関連し、総会の収支決算報告に、会費未払分を含めるかどうか、次回の役員会で審議することが提案された。

議題 3. 11月例会について
場所：京都市立芸術大学
日時：11月26日(土)
発表候補者：

岡 達也(京都工芸繊維大学大学院)
「京都高等工芸学校生徒作品における西洋デザインの受容と伝統的デザインの変容」

森山貴之(京都市立芸術大学ギャラリー)
「デジタルファブリケーション研究のフレームワーク～《共創のかたち：デジタルファブリケーション時代の創造力》展報告から」

議題 4. 2月例会について
場所：大阪人間科学大学

日時：2月4日(土)

発表候補者：近藤 晶(福井工業大学)

「矢印にみる日本の方向指示表記の変遷」

議題5. 5月例会について

会場候補：神戸芸術工科大学での開催を打診することとなった。

日時：未定

議題6. 第54回大会開催校の決定

会場：京都工芸繊維大学

日時：7月21、22日(土、日)

議題 7. 例会研究発表と『デザイン理論』投稿について

「学会発表を経てから投稿する」という規定を作れないかという提案があった。これに対し、発表の仕方がわかり難いという意見もあり、『デザイン理論』に申し込み用紙を綴じこむという案がだされた。次回の役員会にて編集委員会が用意することになった。

なお、発表要旨の投稿については義務ではないということが確認された。

議題 8. デザイン史フォーラムとの合流について

藤田会長から「デザイン史フォーラム(以下DHFと省略)」の意匠学会との合流について説明された。理由の一つに学会の国際性が日本学術会議の評価基準となってきたことが取り上げられた。また、海外の会員との連携により、英語論文の査読が可能となるため、意匠学会の国際交流部門として設立したいという意向が伝えられた。

論文集『Design Discourse』の名前を残したいという意向に対して、国際版という形で最初は『デザイン理論』に掲載することになるだろうという意見が出された。

最終的に以下の3点について合意された。

- ・DHFの意匠学会との合流については原則的に承認された。
- ・意匠学会内、国際交流推進部門としてのDHFが原則として承認された。
- ・意匠学会未入会のDHF会員(約50名)への『デザイン理論』58号献呈が承認された。

議題 9. 名簿発行に関して

名簿には、2009年までの未納者は含めないことが確認された。

会費請求の時期を明確にすることが提案された。5月に次年度の年会費を請求し、11月に二度目の請求を行いたい。同年度3月末に締切り、この時点での未納者には翌年度からはデザイン理論を送らないことが決定された。

議題 10. 入退会者について

入会者4名が承認された。退会者はなし。

[報告事項]

各種委員会報告

- ・編集委員会
58号の採用論文は7本と報告された。
- ・学会賞委員会
論文賞及び作品賞が報告され、承認された。11月例会で授賞式を行う。
- ・広報委員会
ホームページについて、NTTのプロバイダを利用する事が提案され、了承された。9月から契約。

平成23年度 第5回役員会 議事録

日時：平成23年11月26日(土) 12時30～
場所：京都市立芸術大学

新研究棟2F共同ゼミ室

出席者：今井美樹、面矢慎介、佐藤博一、塚田章、永井隆則、並木誠士、藤田治彦、三木順子、藪亨、山口良臣、横川公子、吉村典子、渡邊眞(50音順、敬称略、以下同様)

[審議事項]

議題 1. 前回議事録の承認

一部修正の上、承認された。

議題 2. 2月例会について

場所：大阪人間科学大学

日時：2月4日(土)

発表候補者：

近藤 晶(福井工業大学)

「矢印にみる日本の方向指示表記の変遷」

・もう一人(伊村靖子：京都市立芸大)の候補者については、発表要旨を受理後、役員にメールにて承認をもらう。

議題 3. 5月例会について

会場候補：神戸芸術工科大学での開催を打診。

橋本会員と連絡が取れない場合、武庫川女子大・横川委員に会場候補として検討を依頼する。

日時：未定

発表候補者：未定

議題 4. デザイン史フォーラム(DHF)の合流について

・DHFの意匠学会への合流は最終的に承認された。

・DHFの位置付けは、意匠学会の国際交流部門(または委員会)として承認された。

・国際交流部門(または委員会)の担当者を橋本啓子氏、土金康子氏、竹内有子氏、肥後有紀子氏とすることが承認された。

・DHFの銀行口座残額の783,867円が12月中に振込まれる予定である。

・今後の検討事項として『Design Discourse』の発行頻度、論文テーマ設定の有無、ウェブジャーナルとの兼ね合いなどが挙げられるが、2012年度からの運営を目指し、次回2月役員会までにこれらの事項を決定したい。

議題 5. 役員選出規定の改正について

以下の改正が承認された。

(改正前)

第1条 役員を選出と10人委員会

2. 役員を選出は、選挙により選ばれた10人の委員から構成される10人委員会が行う。

(4) 10人委員会は、学会の運営に必要な各会務担当の委員を正会員の中から選出し委嘱することができる。委嘱する委員の数は10人を越えることはできない。

(改正後)

第1条 役員を選出と10人委員会

2. 役員を選出は、選挙により選ばれた10人の委員から構成される10人委員会が行う。

(4) 10人委員会は、学会の運営に必要な各会務担当の委員を正会員の中から選出し委嘱することができる。委嘱する委員の数は20人を越えることはできない。

・書類不備のため今年度の総会では提案にとどまったが、来年度の総会で正式の承認を得る予定である。

議題 6. 第54回大会について

会場：京都工芸繊維大学

日時：7月21日(土)、22日(日)

・日程は確定した。2月例会までには詳細を報告する予定。

議題 7. 入退会希望者の承認

入会者7名(内 DHF 会員5名)が承認された。退会者はなし。

〔報告事項〕

各種委員会報告

(1) 編集委員会

- ・現在、59号を編集中、2月中旬頃に発行予定。
- ・59号以降、査読者名を会報に掲載する。

(2) 学会賞委員会

- ・現在、2011年度の論文賞を審査中。2月役員会で報告予定。作品賞は今年度大会から審査済み。
- ・長年、意匠学会賞の該当者がいないので、今後は推薦者を選定し、依頼するなどの対策が必要。

(3) 広報委員会

- ・現在、新サイトへの移行を作業中。

会報担当連絡先

〒670-0092 姫路市新在家本町1-1-12

兵庫県立大学環境人間学部

メディアデザイン研究室 関 哲洋 宛

e-mail: seki@shse.u-hyogo.ac.jp

TEL. 079-292-9332 (研究室直通)

FAX. 079-293-5710 (総務課)